

令和5年度(2023年度)事業報告書

令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

公益目的事業

I 国内学生(留学生を含む)10名に対して奨学金給付事業を行なった。

1. 国内学生(留学生を含む)6名に対して1年間(12ヶ月)、令和5年10月より4名(5名の合格者の内1名辞退)増員して6ヶ月間奨学金を給付した。

尚、4名の内1名は奄美群島出身者である。

2. 奨学金は1名につき月額12万円を給付した。令和5年10月までは新型コロナ禍で対面での給付ができなかったため、奨学生が指定した預金口座に振込んで給付した。

なお、本年度は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大によりオレゴン大学(米国・オレゴン州)からの留学生はいなかった。

II 国外2大学(ベトナム国家大学ハノイ校(VIETNAM NATIONAL UNIVERSITY HANOI)(ベトナム社会主義共和国)、ラオス国立大学(NATIONAL UNIVERSITY OF LAOS・NUOL)(ラオス人民民主共和国)に対して奨学金給付事業を行なった。

1. ベトナム国家大学ハノイ校に奨学金年額USD10,000.00(1,440,600円)を給付した。

2. ラオス国立大学に奨学金年額USD10,000.00(1,440,600円)を給付した。

III 奨学生の交流事業を行う。

1. 当奨学会が創立以来行ってきた国内奨学生への奨学金の対面給付(毎月)と交流会(毎月)は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大のために令和5年10月までは開催することができなかった。その間は毎月「zoom」により奨学生の研究発表及び交流を行った。

IV 令和6年度(2024年度)奨学生の募集及び選考を行なった。

1. 当奨学会ホームページを通じ国内学生(留学生を含む)を対象に奨学生の募集及び選考を行なった。

選考は奨学生選考委員会により行った。

外国人留学生3名日本人11名の奨学生合計14名を決定したが1名辞退があり13名となった。

2. 令和6年能登半島地震支援として被災地の奨学生10名を選考したが、1名辞退があり9名となった。

選考は、穴水高等学校長島崎康一、門前高等学校長中澤賢、能登高等学校長屋敷秀樹、輪島高等学校長平野敏、飯田高等学校長角秀明が行った。

V 当公益財団法人のホームページで事業活動など広報を行なった。

1. 当公益財団法人のホームページで事業活動など広報を行なった。

収益事業

I 不動産賃貸業

令和5年10月より貸家1件及び令和5年12月より駐輪場用土地賃貸1件の不動産賃貸業を開始した。

